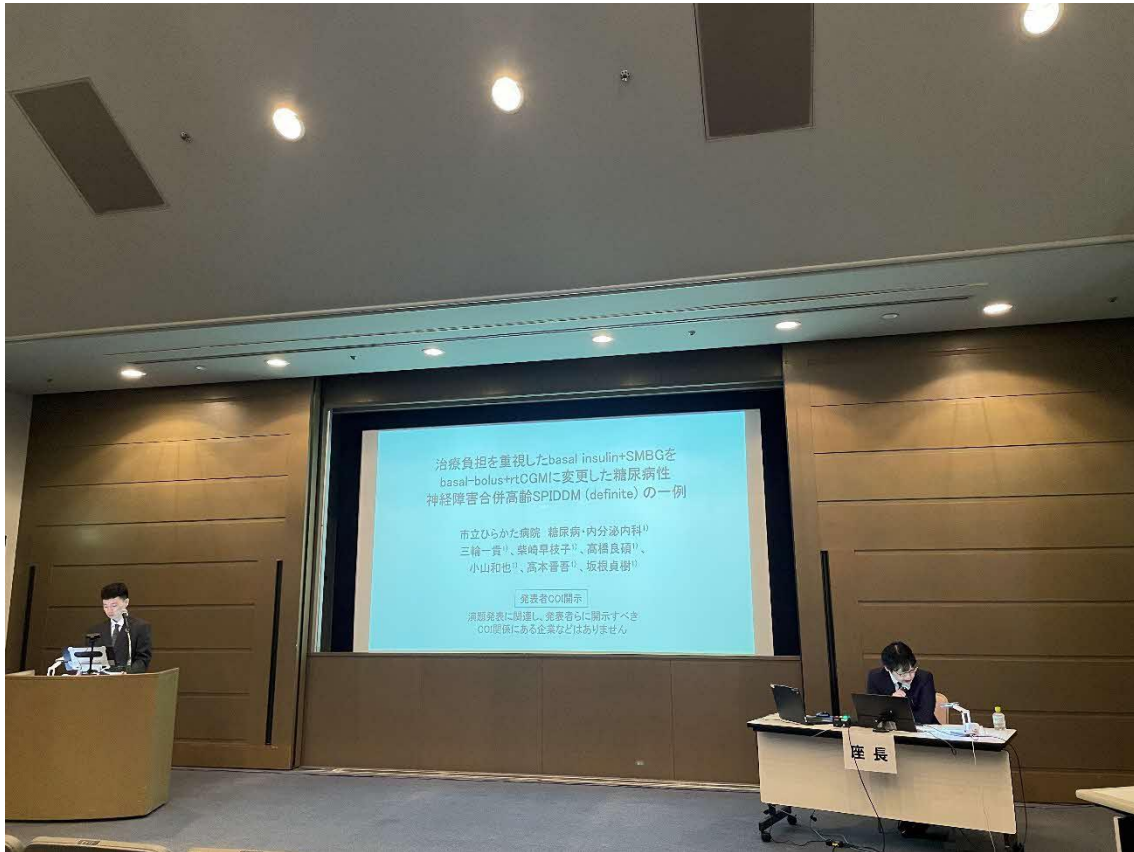


2026年3月14日（土）に第251回日本内科学会近畿地方会が大阪国際交流センターで開催されました。大阪上本町（谷町九丁目）にある便利な施設です。主任部長、久しぶりに大阪の街を歩きました。マンホールが大阪らしいですね！



学会会場では、スーツを着た専攻医さんとその指導医さん達が忙しそうに行き交います。今回当科からは、内分泌・代謝のカテゴリーで1題、演題発表をさせていただきました。高齢になってから1型糖尿病を発症した患者さんの病型診断・糖尿病性神経障害の評価・インスリン治療負担について発表しました。筆頭演者の先生は、これが人生3回目の口演発表、さすが3回目ともなると堂々として立派なふるまいです。落ち着いて上手に発表することができました。



主任部長、学会会場で一人の女性医師に声をかけられました。「あの…ひらかたの先生ですね。インスリンポンプを熱心におやりになっている…、インスリンポンプ治療については是非お聞きしたいことがあるのですが。」主任部長、ちょっとびっくりしましたが、一生懸命やっているポンプ治療についてご質問を頂けてとても光栄でした。そして、「やっぱりこうして直接教えて頂けるのが一番ですね。」と仰って下さったので大変嬉しかったです。“糖尿病センターだより”をお読みの皆様！学会会場で主任部長を見かけたら、是非お気軽に声をかけて下さいね。待っています（笑）。